

2021年(令和3年)2月16日<火曜日>

補償コシ復興支援協会 県と支援協定

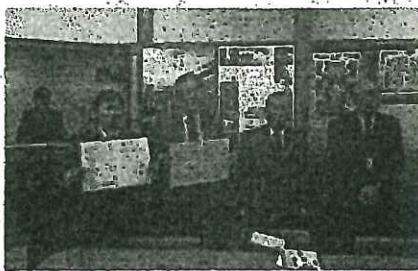
日本補償コシサルタン
ト復興支援協会(川畑清
夫会長)は10日、高知県



と「災害時における復旧・復興等事業の支援業務の実施に関する協定」を締結した。都道府県と協定を結ぶのは高知県が全国で初めて。

南海トラフ地震により家屋が損壊した場合、被災した市町村から支援要請を受けた県が同協会に

協力を要請。同協会は、損壊家屋の解体撤去に関する事務作業や現地調査を行う。同協会は全国に446社、県内に5社の会員があり、災害時には



近頃の会員からの応援も想定している。

締結式には、県から川村龍哉(林業振興・環境部長)や杉本幸三(環境対策課長)が参加した。川畑会長をはじめ、二川益行(理事)、高知県代表の福家正義氏が出席した。

川村部長は「復興を早期に進めるために重要な第一歩。事務が手薄となる市町村の業務を復興支援協会に支援してもらうのは県としても心強く思っている」と感謝の言葉を述べた。これに対し、川畑会長は「災害が発生した際には、1日でも早く、被災者が以前の生活を取り戻せるよう微力ながら努力したい」と話した。

協定を締結した復興支援協会と高知県の担当者
話す、支援業務に関する研修・講習会を開く考えを示した。